

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	食の安全・安心				予算施策コード	ns02	
担当部局名	農林水産部	農業振興局	畜産課	評価責任者	課長 青野 逸志	連絡先	2575

1 施策の内容

施策の目標	食は生活の糧であり、生命を育む根源である。生産流通段階における農林水産物の安全性確保を図り、消費者に対して安全・安心な農林水産物を供給する。
これまでの取組み	食の安定生産と安全性を確保するために、家畜保健衛生所、農林水産研究所等において、生産段階における危害因子(病原体による汚染、動物用医薬品や農薬の残留等)の調査および指導等により、リスク管理の強化を図っている。また、生産履歴や加工原料等の情報を消費者に提供できるトレーサビリティシステムの普及定着に努めるとともに、流通販売段階においても食品表示の監視・指導に努め適正表示の徹底を図っている。

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	生産段階における安全性確保達成状況				B	流通段階における安全性確保達成状況					
選択理由	食の安定生産と安全性を確保するためには、生産段階における危害因子の調査・監視を実施し、リスク管理の強化を図ることが重要。				選択理由	消費者に農水産物の正確な情報を提供するためには、流通販売段階における食品表示の監視・指導を実施し、食品表示の適正化を図ることが重要					
算定方法	〔調査・監視実施件数－不適正事例件数(畜水産物における抗菌性物質等医薬品や農作物における農薬の残留件数)〕／調査・監視実施数×100				算定方法	調査において確認された生鮮食品の不適正表示件数					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	-

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%		%			%	千円					
元年度	100	100	100.0%	37	31	119.4%	126,515	42,110	4,639	79,766		258,974
2年度	100	100	100.0%	29	24	120.8%	134,657	43,631	5,423	85,603	115,303	276,059
3年度	100	100	100.0%	23	27	85.2%	1,219,597	589,812	5,213	624,572	679,824	278,300
4年度 目標値	100			25			410,336	95,685	182,167	132,484		
最終目標	100			0								

4年度当初予算

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	各法律(家畜伝染病予防法、BSE特措法、農薬取締法、薬事法等)に基づく県の事務として実施しているもののほか、安全・安心な農林水産物の生産供給は、県民の食生活に直結するものであり、県が積極的に関与する必要がある。				
高い							
成果指標A		説明	不適正事例がなく、成果動向は順調で、各事業における生産段階での調査・監視が適切に機能しており、高い水準で農林水産物の安全性の確保がなされている。 適切な監視・指導體制を維持することが重要であり、これらの取り組みを積み重ねることで成果の維持が期待できる。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上は余り望めない						
成果指標B		説明	平成27年度に新たな食品表示ウォッチャーの委嘱に伴い、調査対象とする生活圏が変更され新規の調査店舗が増えたことで、不適正表示件数が増加したが、不適正表示事例の指導により、不適正件数は減少している。 適切な監視・指導體制を維持することが重要であり、これらの取り組みを積み重ねることで成果の向上が期待できる。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	大幅な成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.05	順調・向上	成果向上余地	1.60	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	食品の偽装表示、無登録農薬問題、BSE・高病原性鳥インフルエンザ・口蹄疫・豚熱の発生により、食の安全・安心に対する消費者の関心は高まっているため、今後も、食に直結する農林水産物の安全性と信頼性に関する取り組みは、重要性が増すと考えられる。
-------------	---

3 施策の今後の方向性

<p>本県においては、成果は概ね順調で、安全・安心な農林水産物の供給体制が高い水準で維持されている。更に、農畜水産物の安全性を向上させ、消費者の信頼を高めるための取組として、生産及び流通の段階において、農薬及び医薬品等の適正使用、病気の発生防止等による農畜水産物の安全性確保等が求められており、今後も食に直結する農林水産物の安全性と信頼確保に関する取り組みは重要性が増すと考えられるため、引き続き現在の水準を維持する必要がある。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名				ns02	食の安全・安心									
1 獣医師確保対策事業費																								
		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標			コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2	2	2	2	-	事業費計	11,952	8,896	9,865	9,865	評価 今後も修学資金給付制度の継続、獣医系大学への直接訪問やWebによる就職説明会の実施と、獣医系大学生のインターンシップの受入れを積極的にを行うことで、農林水産部局公務員獣医師の確保が可能となり、県下の畜産農家の防疫衛生の指導体制の安定へつながる。	方向1 このまま継続	方向2	方向3							
成果	+	70-	農林水産部局公務員獣医師採用数	実績	4	1	3		国費															
			達成率	200.00%	50.00%	150.00%		その他																
			計画	9	6	7	8	県費	11,952	8,896	9,865	9,865												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	9	6	7	8	-	事業費計	6,907	6,447	5,702	見直し 方向性					方向1 このまま継続	方向2	方向3				
活動	+	70-	修学資金給付者数	実績	7	7	6		国費															
			達成率	77.78%	116.67%	85.71%		その他																
			計画	8	8	8	8	県費	6,907	6,447	5,702													
指標種類3	指標名称3	単位	計画	8	8	8	8	-	人役	0.5	0.5	0.5									見直し 方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
活動	+	70-	インターンシップ受入れ人数	実績	4	5	0		人件費	3,403	3,383	3,025												
			達成率	50.00%	62.50%	0.00%																		
			計画	4	5	0																		
実施期間	初期	終期	事業の概要																					
	H23	予定・見込があれば記入	本県でも受験者の減少や合格者の辞退等により獣医師の不足が生じている一方、家畜防疫員の確保が畜産を守る必須の条件として各県の喫緊の課題となったことから、獣医系大学生に対する修学資金貸与制度の創設等により有能な公務員獣医師の確保を図ることとする。																					
2 死亡牛全頭検査事業費																								
		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標			コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果	向上 余地	1成果向上余地が小 さい						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	100	100	-	事業費計	13,371	13,377	13,377	13,378	評価 現状、全ての検査対象牛についてBSE検査が実施されている。	方向1 このまま継続	方向2	方向3							
成果	+	70-	死亡牛におけるBSE検査実施率	実績	100	100	100		国費	5,464	5,495	5,605	5,608											
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%		その他																
			計画	142	125	125	125	県費	7,907	7,882	7,772	7,770												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	142	125	125	125	-	事業費計	10,752	13,138	9,495	見直し 方向性					方向1 このまま継続	方向2	方向3				
活動	0	70-	96か月齢以上の死亡牛及び特定症状を示した牛の発生頭数	実績	103	115	91		国費	4,403	5,461	3,733												
			達成率	-	-	-		その他																
			計画	142	125	125	125	県費	6,349	7,677	5,762													
指標種類3	指標名称3	単位	計画	142	125	125	125	-	人役	5.3	5.3	5.3									見直し 方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
活動	0	70-	BSE検査実施頭数	実績	103	115	94		人件費	36,072	35,860	32,065												
			達成率	-	-	-																		
			計画	142	125	125	125																	
実施期間	初期	終期	事業の概要																					
	H15	予定・見込があれば記入	牛海綿状脳症対策特別措置法により、H15.4.1から24か月齢以上の死亡牛全頭検査が義務付けられ、R1年度から一般死亡牛検査月齢が96ヶ月以上となった。これに伴うBSE検査の的確かつ円滑な実施を図り、本病の清浄性の維持を目指す。																					
3 豚熱等防疫強化緊急対策事業費																								
		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標			コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	0	0	0	0	-	事業費計	100,749	14,100	52,371	126,316	評価 R4年度は事項名変更「豚熱等防疫強化対策事業」	方向1 このまま継続	方向2	方向3							
成果	0	70-	豚熱・アフリカ豚熱の発生件数	実績	0	0	0		国費	5,414	5,237	31,764	63,749											
			達成率	-	-	-		その他																
			計画	350	350	350	350	県費	95,335	8,863	20,607	62,567												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	350	350	350	350	-	事業費計	60,941	10,326	37,277	見直し 方向性					方向1 このまま継続	方向2	方向3				
活動	+	70-	養豚農家巡回指導戸数	実績	371	295	344		国費	699	4,699	22,787												
			達成率	106.00%	84.29%	98.29%		その他																
			計画					県費	60,242	5,627	14,490													
指標種類3	指標名称3	単位	計画					-	人役	0.5	0.5	0.5									見直し 方向性	方向1 このまま継続	方向2	方向3
			達成率	-	-	-		人件費	3,403	3,383	3,025													
			計画																					
			達成率	-	-	-																		
実施期間	初期	終期	事業の概要																					
	R1	予定・見込があれば記入	豚熱の国内における発生については、県内侵入の危険性を否定できない状況まで拡大していることから、空海港での水際対策や万が一の発生に備えたまん延防止対策の強化を講じることにより、万全の防疫対策を整える。																					

8 食品表示適正化推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R8)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	1成果向上余地が小さい						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	-	-	-	-	予算	事業費計	3,387	3,451	3,451	3,451	評価			法改正等により新規に対応できていない表示があったものの、食品表示ウオッチャー(100人配置)による表示の監視は、多数の店舗での監視活動が可能となっており、食品関係事業者に対して不適正表示の一定の抑止力があること、また、消費者の食品表示に対する関心の高まり等により、当面はコスト削減の余地はない。					
活動	-	ストック	食品表示ウオッチャーの生鮮食品に対する指摘件数	人	実績	121	126	113	国費						見直し方向性					方向1	このまま継続			
					達成率	-	-	-	その他															方向2
指標種類2	指標名称2			単位	計画	37	29	23	25	決算	事業費計	2,546	2,223	2,110	見直し方向性									
成果	-	ストック	食品表示ウオッチャーの指摘に基づき実施した調査で確認された生鮮食品の不適正表示件数	件	実績	31	24	27	国費											見直し方向性	方向1	このまま継続		
					達成率	119.35%	120.83%	85.19%	その他															
指標種類3	指標名称3			単位	計画	-	-	-	-	決算	事業費計	2,546	2,223	2,110	見直し方向性									
活動	0	ストック	食品表示相談窓口の相談件数(対応数)	件	実績	477	354	266	国費											見直し方向性	方向1	このまま継続		
					達成率	-	-	-	その他															
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	1.7	1.7	1.7	見直し方向性										
	H17	予定・見込があれば記入	①食品表示ウオッチャーの設置②食品表示相談窓口の設置及び食品表示法(品質事項)の普及啓発③適正表示推進講習会を開催し、食品関係団体等による表示の適正化に向けた取組みを支援を行い、消費者から信頼される食品表示を推進する。							人件費	11,571	11,503	10,285											

9 農業適正使用推進事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R8)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0	0	予算	事業費計	6,706	6,712	6,522	6,286	評価			農林水産研究所での残留分析の結果、基準値超過は見られていない。また、農業による中毒・死亡事故もなく、講習会や立入検査等により、事故等の発生を未然に防ぐことができています。					
成果	0	70-	基準値超過又は使用禁止農薬成分の検出数	件	実績	0	0	0	国費		929	927	1,127	1,151	見直し方向性					方向1	このまま継続			
					達成率	-	-	-	その他		4,428	4,437	4,047	3,904										方向2
指標種類2	指標名称2			単位	計画	0	0	0	0	決算	事業費計	6,357	6,045	5,182	見直し方向性									
成果	0	70-	農薬による中毒・死亡事故件数	件	実績	0	0	0	国費		768	927	707	見直し方向性						方向1	このまま継続			
					達成率	-	-	-	その他		3,769	3,787	3,552											方向2
指標種類3	指標名称3			単位	計画	4	4	4	4	決算	事業費計	1,820	1,331	923	見直し方向性									
活動	+	70-	協議会、講習会の開催数	件	実績	4	4	4	国費											見直し方向性	方向1	このまま継続		
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他		1,820	1,331	923	方向2										
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	7.4	7.4	7.4	見直し方向性										
	S46	予定・見込があれば記入	愛媛県農業適正使用推進協議会の実施方針に基づき、県産農産物の安全性確保に努めるとともに、あわせて農業による危害の未然防止並びに環境保全対策を推進する。							人件費	50,365	50,069	44,770											

10 県産農林水産物放射性物質検査費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画	0	0	0	0	予算	事業費計	1,053	699	699	699	評価								
成果	0	70-	放射線量測定品目数	品目	実績	0	0	0	国費						見直し方向性					方向1	このまま継続			
					達成率	-	-	-	その他															方向2
指標種類2	指標名称2			単位	計画	25	25	25	25	決算	事業費計	1,001	0	668	見直し方向性									
成果	+	70-	研修会参加人数	人	実績	22	0	0	国費											見直し方向性	方向1	このまま継続		
					達成率	88.00%	0.00%	0.00%	その他															
指標種類3	指標名称3			単位	計画	1	1	1	1	決算	事業費計	1,001	0	668	見直し方向性									
活動	+	70-	研修会実施回数	回	実績	1	0	0	国費											見直し方向性	方向1	このまま継続		
					達成率	100.00%	0.00%	0.00%	その他		1,001	0	668	方向2										
実施期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.2	0.2	0.2	見直し方向性										
	H23	予定・見込があれば記入	東電福島第一原発事故に伴い、農産物等の放射能汚染に対する不安が高まる中、本県の農林水産物への影響が予想される場合や風評被害が懸念され安全性確認を行う必要がある場合等に迅速かつ適正な検査を行うための経費である。							人件費	1,362	1,354	1,210											

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名

ns02

食の安全・安心

1 南予家畜保健衛生所整備事業費	コスト (単位：千円)	4年度
	事業費計	176,841
	国費	
	その他	176,841
	県費	